

復興への決意 さらなる復興加速化に 全力

東日本大震災から4度目の冬を迎えます。防衛大臣として週2回の閣議の際に、各担当大臣に直接働きかけ、大臣退任後は自民党復興加速化本部副本部長(宮城再興担当)として復興事業の加速化を進めて参りました。

災害公営住宅の整備、防災集団移転事業、土地区画整理事業、被災者の見守りや心のケアなどの健康・生活支援事業など、発災から5年間の集中復興期間以降も必要な財源は必ず確保します。

被災地の思いはわが思いであり、あらゆる政策を総動員し、復興の加速化に誠心誠意取り組んで参ります。

魅力ある 地方を創生 農林水産業・地域の振興

26年産米の概算金が近年の最低水準まで低下し、生産者に大きな不安が広がり、直ちに予算委員会でも農林水産大臣に対策を求めました。農業者の不安をなくし、経営所得安定対策を図り、10年間で農業所得倍増を実現できるように努力して参ります。また、震災で失われた農林水産物・水産加工品等の販路を取り戻し、新たに拡充するための施策を打ち出して参ります。

そして、地域で暮らしやすい環境を確保し、魅力ある多様な雇用を創出することによって、大都市への集中を是正し、**地域の皆さんが夢や希望を持てる「三世代が一緒に暮らせるふるさと」をめざして地方創生を進めます。**

「命の道」で 安全・安心な 「ふるさと」をつくる

三陸沿岸道路は、平成27年度には登米志津川道路が、28年度には志津川～南三陸海岸、29年度には南三陸海岸～歌津と大谷～気仙沼間が開通予定です。1日も早い全線開通と三陸沿岸道路から生活道路や避難道路など地域が真に必要な道路整備を推進します。

また、物流や交流圏の拡大、産業や観光の振興、救急医療や防災機能など、地域の発展に大きな役割が期待される、花洲山バイパス、みやぎ東北高速幹線道路、築館バイパス、国道108号古川東バイパス、国道347号など、災害に強い「命の道」づくりを進め、安全・安心で豊かに暮らせる「ふるさと」をつくります。



宮城県第六選挙区
衆議院議員候補者
自民党公認

小野寺五典

いっのり

復興を前へ。 日本を守り、地域を守る。 三世代が一緒に暮らせる ふるさとをめざして

一昨年末の総選挙後、防衛大臣を拝命し、617日間、顕在化・先鋭化・深刻化している、わが国安全保障環境の折、皆さまのご理解とご協力を賜りながら、国民の生命・財産とわが国の領土・領海・領空を断固として守り抜くために全力を尽くして参りました。

また、厳しい環境の中で活動している隊員を出来る限り激励したいという思いがあり、在任中、約150箇所あまりの部隊視察を行いました。絶海の離島や、人里離れた雪山の山頂、あるいは灼熱の洋上など、国内外の過酷な環境の下で活動する隊員、そして、被災者を救助するため、泥水の中で懸命な活動を行う隊員など、行く先々において、真摯な眼差しで多様な任務に取り組む隊員の姿に接してまいりました。

その中で、私は東日本大震災の被災地出身であり、大震災発災時の全国の自衛隊員の活躍を熟知しておりますので、被災者の一人として各部隊を回りながら、隊員に、被災地の声として当時の活躍に対する感謝の言葉を伝え、一つ一つ心を込めて訓示をさせていただきました。

大臣在任中も地元の復興は道半ば、精一杯復興に尽くして参りましたが、これまで以上に被災地の声を直接お聞かせいただき、復興を加速化させ、そして、**私が政治家になった原点である「三世代が一緒に暮らせるふるさと」をめざし、全力を尽くして参ります。**

プロフィール 前 防衛大臣 昭和35年5月生まれ。気仙沼高校、東京水産大学卒。東京大学大学院法学政治学研究所修了。宮城県職員、松下政経塾研究員、東北福祉大学助教授を経て、平成9年より衆議院議員。平成16年外務大臣政務官、平成19年外務副大臣、東日本大震災復興特別委員会委員、沖縄及び北方問題に関する特別委員長などを歴任。平成24年に5期目の当選後、防衛大臣。現在、自民党政務調査会会長代理、自民党復興加速化本部副本部長(宮城再興担当)。

消費税10%「先送り」ではなく **キャパ中止**に

暴走ストロップ！ 政治を変えよう

- 財源は** ●富裕層と大企業に応分の負担を求め、税制改革
- 大企業の内部留保を活用し、国民の所得を増やす経済改革による税収増

消費税に頼らない道に進んで **暮らし優先の経済に転換します**

- 1 人間らしく働ける 雇用のルールを**
 - 派遣法の改悪許さず、正規雇用を原則に
 - 過労死をなくす
 - 中小企業支援と体で最低賃金の大幅引上げ
- 2 年金、医療、介護、教育を「切り捨て」から「充実」に**
 - 低すぎる年金を底上げし、「減らさない年金」に
 - 医療費の窓口負担、国民税の軽減
 - 特養ホームも保育所も保費ゼロに
 - 先生を増やし35分(半級)に
 - 返還不要の奨学金を創設する
- 3 農林水産業と中小企業の振興**
 - 米価の暴落に緊急対策
 - 価格保障と所得補償で農業再生
 - 魚価の安定、水産物の販路確保支援
 - 外形標準課税による中小企業への増税ストップ

- 復興** 支援の不足・制度の欠陥を **被災者の声でただして加速**
 - 被災者の医療・介護の免除再開
 - 災害公営住宅の建設促進・家賃の軽減
 - 中小企業と商工業者の再開支援を強化
 - 鉄路の全線復旧
- 憲法** **集団的自衛権行使の閣議決定は撤回**
- 原発** **女川原発の再稼働ストップ**
放射能のある廃棄物処分場
水源地域への建設は撤回に

企業献金も政党助成金も受け取らず、国民の立場で筋を通す

比例代表は **日本共産党** とお書きください



内藤たかじツイッター▶ <https://twitter.com/jcphokubu>

国民の声が届く政治に

くらしを壊して格差を拡大、景気を悪化させたアベノミクス。被災地の復興の最大の妨害は消費税増税。主には、きびしい審判をくだしなうよう。

三党合意(2012年6月21日)で増税を決めた自民・公明・民



日本共産党
宮城6区候補者

内藤たかじ

ないとう

隆

司

(56歳)

黙っていても変わりません。 私は闘います。 約束します。格差是正！

- 復興庁は現場みやぎにあるべき
- 復興のための自治体職員増
- 現場を知るマンパワー不足の解消が復興の鍵です
- 巨大防潮堤よりも **日常の防災教育**
- 自然に逆らわず共に生きる知恵が大事です
- 命を守る医療の充実
- 医療格差は、命の格差。小児産科に光を
- 戸別所得補償制度完全復活
- 最低賃金アップ
- 残業代ゼロ法案・非正規雇用拡大を阻止します
- 世界に誇る平和憲法
- 集団的自衛権の行使は違憲です。閣議決定という独裁的やり方で改憲するのは民主主義の否定です。

絶対ダメ

自由競争で農家は **存続の危機** 農は質と量を適切にコントロールする必要があります。

2030年 脱原発社会を目指して
・汚染廃棄物の拡散には反対
・汚染廃棄物の処理技術確立のため、人と研究予算投入が必要です。

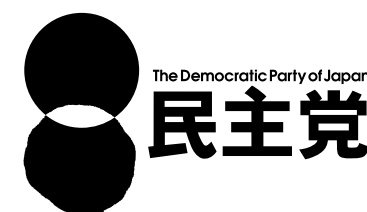
慎重に!!

おかしいぞ

株は上げれど給料上がらず **米価は下がる** アベノミクスの正体は日銀と年金による株の買い支え。自由であるべき市場をコントロールしています。食糧は自由競争にさらしてはいけません。食料品・妊娠出産費用には消費税を無税に!!

プロフィール 1965(昭和40)年1月8日生まれ 49歳
宮城学院高校・東北学院大学卒業
1995(平成7)年~仙台市議会議員
2000(平成12)年~衆議院議員
2003(平成15)年~衆議院議員(二期)
現在民主党宮城6区総支部長

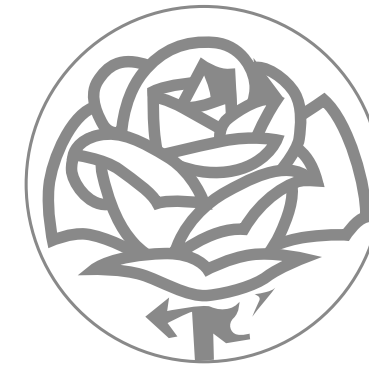
活動ブログ <http://kamata-sayuri.at.webry.info/>
Facebook Twitter 配信中 「鎌田さゆり」で検索ご覧いただけます。



民主党公認
宮城第六区候補者

鎌田さゆり

49歳



12月14日(日)は、 衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査の 投票日です。

- ◎投票日当日、投票ができないときは、期日前投票または不在者投票をしましょう。(12月13日(土)まで)
- ◎投票所の入場券が届いていない場合やなくしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。

衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査については、
宮城県選挙管理委員会ホームページをご覧ください。

宮城県選挙管理委員会

検索